

第3回教師力ちょっとアップ研修会（8月4日） 【参加者 11 名】

本年度第3回の「教師力ちょっとアップ研修会」には、管内の小学校、中学校、高校から11名にお越しいただきました。

前半は、1学期の振り返りトークを行いました。少人数のグループで、参加者が1学期頑張ったことやうまくいったこと、また課題に残ったことなどを指導主事も交えて語り合いました。参加者からは「先生方の日々意識していることが、自分と共通するものを感じながら過ごされているというところがモチベーションになりました。また自分が意識しているところが大事なところだと再確認できました。」と感想をいただきました。後半は、希望する教科別に具体的な授業づくりを行いました。助言者には経験豊富な管内の教頭先生を迎え、教材の扱い方や単元の組み立て方、具体的な授業構想などについて対話しながら学びました。以下、先生方の感想をお伝えします。

【参加者の感想から】

- 生徒の疑問点がなかなか見つからないことが悩みでしたが、生徒の疑問を教師が設定し、それに向かって生徒が自分で問いを立てていくというやり方が自分の中で新たな発見でした。あまり今まで単元のまとまりを考えながら授業の組み立てを行っていなかったため、今回改めて組み立て方から見直すきっかけとして学ぶことができました。
- 学習指導要領に示されている資質・能力を年間で身につけることができるように、年間指導計画を見直す必要があることがわかりました。ねらいを明確にもつことが大切だと改めて感じました。
- 中学1年生の古文についてお話をお聞きしました。古文に苦手意識を持たないように、まずは音読を楽しむところから始め、生徒に楽しんでもらう工夫が必要ということを学べました。
- 生徒にどんな力をつけさせたいのか、教師側の願う生徒の姿やねらいについて考えるいい機会となりました。全ての授業でこれらのことができれば丁寧で理想ではありますが、いくつか単元を決めて、じっくりと取り組んでみたいと感じました。



（南信教育事務所飯田事務所 指導主事 原）